

# 西表島の似たものの植物

## アカギ

## vs. ショウベンノキ



区 分	木本類
分 布	沖縄、中国、アジアの熱帯地域、オーストラリア、ポリネシア
葉 の 形	卵形
葉 の 縁	鋸歯
葉 の 先	鋭尖形

区 分	木本類
分 布	四国（高知県）、九州南部、沖縄、台湾
葉 の 形	楕円形、長楕円形
葉 の 縁	鋸歯
葉 の 先	鋭形

葉の種類	3出複葉
葉の付方	互生
葉の基部	漸尖形
実の種類	核果
花・萼色	黄色

葉の種類	3出複葉
葉の付方	対生
葉の基部	くさび形
実の種類	球果
花・萼色	白色

せつ 説  めい 明	<p>海岸近くの林地や低地などに広く分布し、大木となっているのをよく見かけます。また、緑化木として道路などにも植えられており、葉は3出複葉で、葉の縁は鋸歯があります。アカギ（赤木）の名前は材の色が茶褐色であることからついたそうです。雌雄異株。</p>
------------------------	---

説  明	<p>亜熱帯の常緑樹林内に生育し、高さ3-4m、ときには15mにもなる小高木です。葉は3つの小葉からなる3出複葉、まれに1個または5個の小葉からなります。小葉は楕円形で表面に光沢があり、無毛、縁には浅い鋸歯があり、長さ7-12cm、幅2.5-5cmです。花は円錐花序で多数の白色の花をつけます。実は、径7-10mmの球形で赤色に熟します。</p>
------------	---